

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	スポーツを支える人材活性化促進事業	<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度	<b>担当課室</b>	スポーツ振興課	スポーツ振興課長 嶋倉 剛				
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	X II-2 生涯スポーツ社会の実現					
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第21条	<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を実現するためには、各人がその自発性のもと、ボランティア活動を通じてスポーツを支えていくことが不可欠である。そのため、スポーツ大会におけるボランティア活用の方策の試行や研修の実施などにより、地域におけるスポーツボランティアの拡大と能力の向上のための事業を実施することで、スポーツボランティアを活性化し、生涯スポーツ社会実現のための環境整備を図る。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	地域の児童スポーツクラブやスポーツ教室において、地域で身近なスポーツの指導によりボランティアとして関わるために必要最低限の知識やスポーツイベントの実施運営のしくみを知る研修を実施することで、専門的な技術がなくてもスポーツへ様々な形で関わる方法を学び、スポーツボランティアへの意識啓発や能力の向上につなげ、スポーツを通じた地域での居場所づくりや世代間交流を促す。 また、年間を通じて、他種目にわたって、数多くのスポーツ大会を実施しているスポーツ・レクリエーション団体等において、スポーツボランティアへの導入、継続参加、効果的な活用の方策を検討し、大会種別に応じた運営ノウハウや安全確保などの留意点も含めてボランティア活用のためのマニュアル・事例集を作成する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算				98.8		
		補正予算						
		繰越し等						
	計				98.8			
執行額								
執行率(%)								
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	成人の週1回以上のスポーツ実施率(内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」を基に推計)			%	-	-	-	65
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込 ※25年度見込み
	地域のボランティア研修会の実施箇所数			箇所	-	-	-	( 36 )
<b>単位当たりコスト</b>	1.3(百万円/1箇所当たり)		算出根拠	単位当たりのコスト=研修会を実施するために必要となる経費(46百万円)/実施箇所数(36箇所)				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	-	0.3百万円					
	スポーツ振興事業委託費	-	98.5百万円					
	計	-	98.8百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	笹川スポーツ財団の2010年調査によると、過去1年間にスポーツボランティアの実施した成人の割合は8.4%（10年間7%～8%で推移）であるが、今後の実施希望の割合は15.9%である。国民にはスポーツボランティアの実施希望（ニーズ）があるが、必要な施策が十分とは言えない状況にある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出（委託）先の選定にあたっては、十分な公告期間を確保した上で、公募（総合評価入札）を実施する予定であり、その妥当性や競争性を確保している。 費目・用途は、事業を適切に実施するに当たり、必要なものに限定している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	スポーツボランティアの活性化と生涯スポーツ社会実現のための環境整備のための有効策を検討しながら実施する事業であり、事業の実効性は、参加者への追跡アンケートにより計る。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>23年8月に施行された「スポーツ基本法」その他「スポーツ立国戦略」「スポーツ基本計画」に基づき、また過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえ、文部科学省として地域スポーツの振興をどのように推進していくかを検討した上で、本事業を25年度概算要求するものである。</p> <p>笹川スポーツ財団の2010年調査によると、過去1年間にスポーツボランティアの実施した成人の割合は8.4%（10年間7%～8%で推移）であるが、今後の実施希望の割合は15.9%である。国民にはスポーツボランティアの実施希望（ニーズ）があるが、必要な施策が十分とは言えない状況にあり、スポーツを支える人材を活性化することにより、スポーツ環境の一層の整備を図るために必要な施策である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、事業の成果目標等も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）</p> <p>スポーツ基本法について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm</a>  スポーツ基本計画について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm</a>  スポーツ立国戦略について：<a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
98.8百万円

・職員旅費 0.3百万円を含む

スポーツ大会におけるボランティア活用のための方策の試行や研修の実施などにより、地域におけるスポーツボランティアの拡大と能力の向上のための事業を実施する。



【総合評価入札・委託】

A. 民間団体等  
(全2団体)  
98.5百万円

・地域での研修会  
・大会でのボランティア活用方策検討等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.民間団体等(全2団体)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	49.3百万円×2団体	98.5			
	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。				
計		98.5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)